

KADOGAWA



議会だより

かどがわ



3月議会

平成16年度当初予算	2
広域行政調査特別委員会 ...	7
一般質問	8
条例改正等	12

平成16年4月
NO. 98

16年度 当初予算 64億

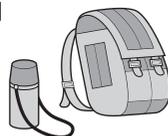
一般会計

特別会計当初予算の構成

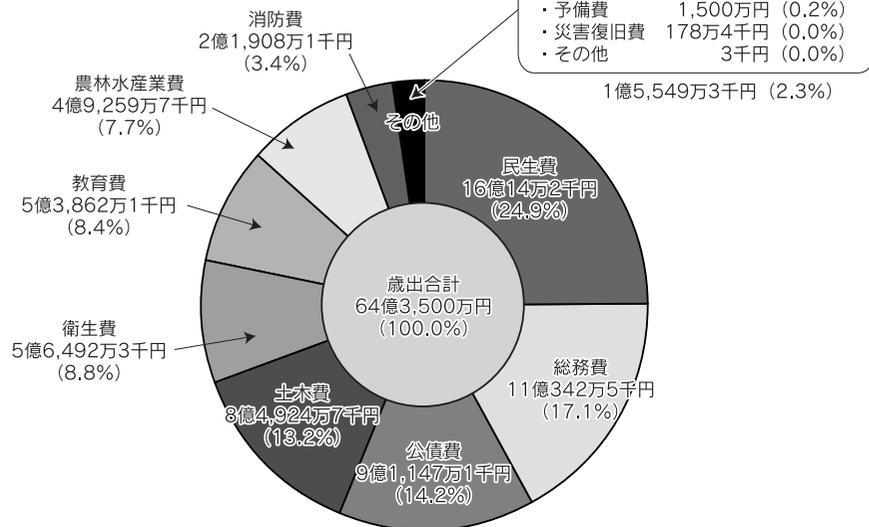
- 1. 国民健康保険事業特別会計 18億580万5千円
- 2. 老人保険特別会計 17億3,528万3千円
- 3. 介護保険事業特別会計 11億1,609万3千円
- 4. 草川土地区画整理事業特別会計 2,094万5千円
- 5. 簡易水道事業特別会計 1,087万円

平成16年度門川町水道事業会計予算

6億9,443万9千円



目的別歳出



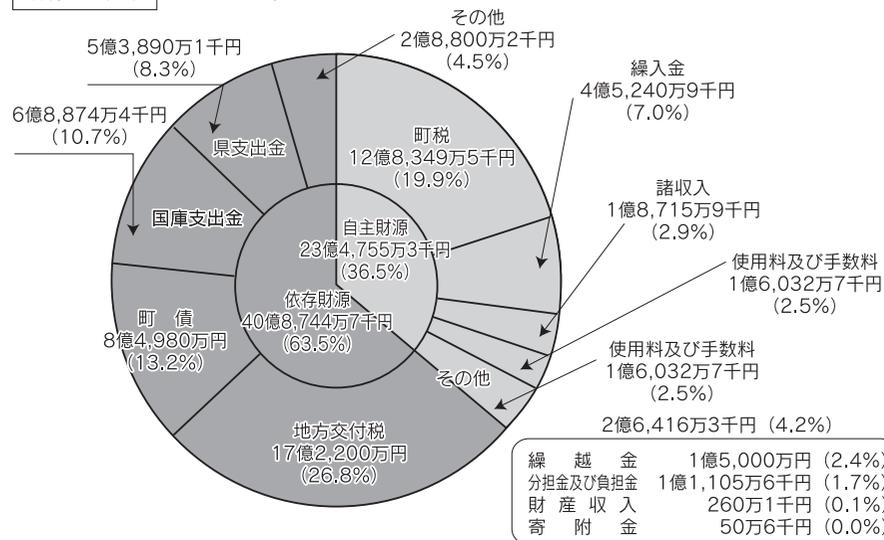
3,500万円可決

3月定例会

平成16年第1回定例会は、3月9日より26日までの18日間開かれました。16年度の各会計予算及び15年度補正予算などの予算関係13件、合併協議会設置案、条例改正5件、意見書3件、町道の認定及び廃止など合計21の議案について審議を行い、また、県内の町村では初の環境基本条例を制定しました。3月10日の一般質問では、8名の議員が登壇し、町政について問い正しました。



歳入 64億3,500万円



総務財政常任委員会

総括

平成16年度門川町一般会計当初予算につきましては、前ページのごとく予算総額64億3500万円で、前年度当初予算と比較しますと2億3700万円(3・8%)の増となっておりますが、本年度は平成7・8年度に行われた減税補填債の一括償還期を迎え、その借換え分1億8460万円を除きますと実質5240万円(0・8%)の増となっております。

この増額の主な要因は、事務事業では、高齢化社会による医療費の高騰等で国民健康保険、老人保健両特別会計等への繰出金の増であり、投資的事業では、カギ田公営住宅建替事業、地域IT推進事業等の増額によるものであります。

歳入の概要

歳入については地方交付税17億2000万円、町税12億8349万5千円、町債8億4980万円、国庫支出金6億8874万4千円、県支出金5億3890万1千円、繰入金4億5240万9千円の内容であり、依存財源は、40億8744万7千円で構成比63・5%を示しています。

一方自主財源は、23億4755万3千円で構成比36・5%であります。自主財源の最も多くを占める町税は、長引く不況の影響等で軽自動車税やたばこ税は伸びるものの、個人・法人町民税・固定資産税等の減収が見込まれるので12億8349万5千円となっております。

歳出の概要

本委員会所管の歳出については、議会費、総務費、消防費、公債費であります。

費は、9261万3千円で議員報酬、議員政務研修負担金が主であります。又、総務費につきましては、総額11億342万5千円で内訳については、一般管理費4億9398万6千円、財産管理費5572万4千円、企画費1億7580万8千円、電算事務費3822万6千円、福祉健康交流研修施設管理費として1億6630万3千円等が主な歳出です。又税務費7861万1千円、賦課徴収費633万円、選挙費として参議院議員選挙等に1745万7千円、統計調査費として1053万2千円も合わせて予算計上



17年3月完成を目指して建設が進むカギ田住宅

されています。次に消防費では広域消防業務負担金等に総額2億1908万1千円が予算化されています。また公債費では長期償還元金7億5176万7千円と、償還金利子及び割引料1億5970万4千円の合計9億1147万1千円となっております。以上が本委員会に付託された本年度の予算概要であります。交付税の大幅削減、自主財源の減少等、かつてない悪条件の中で今までの重要性を認識しながら、更なる住民福祉の向上に努める様努力致します。

文教厚生常任委員会

「民生費」

一般会計当初予算の構成比の1/4を占める大きな予算計上で少子高齢化が一層進展する中で総合的な地域福祉施策等の関連予算が増加しております。新規事業としては就学前児童を対象とした子育てを支援するための次世代育成支援地域行動計画策定、保育所(園)への補助として延長保育促進事業があります。繰出金では、高齢化社会による医療費の高騰に対応し、国民健康保険特別会計及び老人保健特別会計更に、介護保険特別会計への繰出しがなされています。

「衛生費」

衛生費では主に、環境衛生と保健衛生の予算となっております。環境衛生費の中では、門川町の環境を守るため、公害対策・合併処理浄化槽設置補助・塵介処理(広域連合の負担金含む)・漁業集落環境整備・生活排水対策事業等の予算で、保健衛生費ではこれまで培ってきた各種検診事業や予防接種事業の受診率向上や町民自らの健康意識の高揚を図る予算編成となっております。新規事業として、延岡地区夜間急病センター移動費用負担(200万円)と門川町

「教育費」

幼稚園就園奨励費を始め小学校や中学校費の重要な教育関係の予算がなされています。社会教育費としても、従来の各種団体への補助事業、門川ふるさと文化財団への事務委託料など深く文化的活動を振興する予算が計上されています。新規事業としては、補助金として「総合的な学習の時間」支援と人にやさしい町づくり推進事業の2つとなっております。尚、従来行われております介助教員の派遣につ

「質疑応答」

て、学校いきいきプラン推進事業の存続を町が一部負担して行い、昨年同様4名の介助教員の確保が可能となっております。当委員では介助教育の来年度の確保について強く要望した次第です。

「中山川流域生活排水改善対策推進協議会の活動内容と成果は。」との質問には、「各種講演会や研修会の実施、中山川の美化活動などといった中で徐々に成果を上げています。また、「中央公民館の今後の運営と管理は。」の問いには「老朽化がひどく改修を行わなければならないが、今後の館利用をクリエイティブセンターなど利

用へ移行しながら、町の管理下でやっていきたい。」又、「合併浄化槽の設置の実績は。」との質問には、「5人槽428基、6人槽181基、7人槽253基、8人槽102基、10人槽53基、の合計1017基です。」

「門川海浜公園の利用については、休日と祝日の重なった日の対応は。」の質問には、「今のところ対応は考えていないが、委託団体との検討が必要。」等々が審議の過程で出されました。

「国民健康保険事業特別会計」
昨年度と比較して39%の伸びを示しています。これは、保険給付費及び一般被保険者療養給付費の増加の

ためです。

「老人保健特別会計」
今年度は対象年齢の引き上げに伴う対象者の減少や一部負担金の引き上げ、公費負担割合の引き上げ、更に医療費給付費に給付実績状況等を踏まえた予算編成となっております。

「介護保険事業特別会計」
今年度は、要介護認定数の増加もあり、住宅サービス利用者の増加やグループホーム3施設の新設、さらには老人ホーム事業参加が予定されており、こうした状況を踏まえての予算となつております。率にして昨年度より5・6%の増で、歳出の95・4%は保険給付費が占めています。

健康増進のため『心の杜』に歩くプールを

黒木 義秋



町長
国庫負担があれば検討課題としたい

介護疾病予防対策について

町内でも健康づくりの一環として保健指導員等による医療費削減に取組み喜ばしいことである。全国では長野県が一位で、その対策としてスポーツ振興や食育推進健康サービス産業の創出などに取組んでいる。門川町も今後更なる活動に拡大を計るべきと思うがその対策に『心の杜』に歩くプールを増設する考えはないか伺いたい。国はサービス産業に国庫負担金もあります。

鳥インフルエンザ対策について

世界の一部に発生して我国でも山口・大分・京都県近県で発生した。門川町内でもブロイラー養鶏場もありその対応と対策を早急に行うべきと思うがその対策を伺いたい。特に家畜鳥の生産者は施設等の管理についてはかなければ海川は汚染されて行くばかりであり、指導教育が必要と考える。安心出来る農業経営をするための対策を伺いたい。

町長
飼育鶏の健康管理、部外者の農場への出入り制限、野鳥などの鶏舎など出入口消毒などの徹底などについてブローラー、採卵受がんと飼育者に指導している。現状調査や消毒液の配布など行った。

一般質問

プール改修増設は不可能。既存の施設を有効利用してほしい。国庫負担があれば検討課題とする。

町長
鳥インフルエンザ対策について

心の杜の衛生管理とサービスは

安田 修



町長
スタンブカードも検討したい

に助成は出来ないか。

問
農林行政とその対策で「家畜排せつ物法」が、十一月一日から完全実施されるが対策に遅れないか。又、輸入急増農産物特別対策事業を利用して大型事業に取り組み農業青年

町長
施設への補助・融資事業を進めて来たので遅れない。この先も必要な対策は講じて行く。又、ハード面での助成は難しいがソフト面で検討して行く。

町長
子ども議会に限らず、子どもの声を聞く会。子どもサミット等さまざまな形や方法を、町教委、学校側と検討協議して行きたい。

町長
心の杜の安全管理対策は十分か。ポイント方式等を取り入れて入湯者の増加を図っている。

町長
気泡発生装置の改修や、ろ過剤の導入、修復工事等を行い安全管理には万全を期している。今後はスタンブカードも検討していきたい。



かどがわ温泉「心の杜」

問
平成15年度4月より障害者への支援費制度がスタートしたが、本町の利用率はどれくらいか。また、障害児と健全児と一緒に保育を実施する保育所を作る気はないか。

町長
支援費を利用してサービスを受けられている児童が13名おられ、障害児全体に対する率は32・5%になります。また、統合保育は、町内公立保育所にて平成14年度に身体障害児1名、次年度には2名を、一時的に保育事業を実施、今年度は公立・私立それぞれ1名ずつ軽度の障害児の受け入れをしています。しかし、重度障害児の受け入れには、児童福祉法における人員基準、設備、備品基準、運営基準等のクリアーが条件となり、相当な施設整備を必要とすることや専門知識をもった保育士の確保も必要であることなどから現段階での総合保育所の設置は困難であります。

障害児と健全児を一緒にの統合保育所を作る考えはないか

平田 真文

町長
重度の障害児の受け入れが困難



子育て支援について

問
子育て支援について、保育所で行っている事業の課題は。また、各小学校の子育て支援の一環の放課後対策事

公共住宅の建設はできないか

問
上井野町管住宅の老朽化が進み立替えの時期ではないか。場所としては新築移転した西門川児童館の隣地に町有地があり、すばらしい環境に恵まれたところがある。

町長
上井野住宅は昭和38年に建設され、耐用年数の半分が経過し、改善が必要なのは承知している。また教育環境の諸問題、地域の定住促進を図るうえから事情は十分理解できるが、財政的事情から建設は厳しい。

小規模特認校制度の導入はできないか

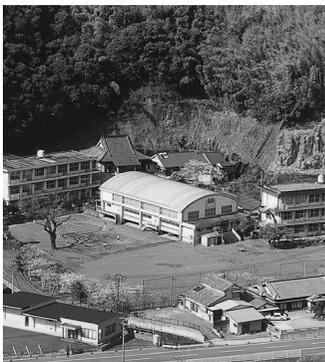
猪倉 照央

教育長
今後の課題としてとらえていく



問
西門川小学校・中学校を校区外からでも入学、転学を認める指定校にできないものか。小規模校ならではの一人ひとりにきめ細かい指導ができ、豊かな自然環境に恵まれ、情操教育の場として最高である。

教育長
この制度は一定の条件の基に小規模校の有する「特色ある環境」の中で児童・生徒に教育を受けさせたいという場合に限定されている。現在の通学区域は規則に基づき指定されており、この制度の導入は教育全般に係る極めて難しく、重要な問題で本町教育行政の課題としてとらえさせていきたい。



西門川小中学校全景

今後の予算編成について

黒木 裕



問 歳入の面で減額されていくであろう交付税の補充策と歳出の部分を見直しを図りたい部分はあるか。

町長 約3億円の減額が推測される中、歳入面では今までどおり国・県支出金等の制度事業の積極的確保、町税等の徴収率の向上を図るとともに、使用料及び手数料の改正等、財政調整基金等の有効利用等による自主財源の確保、臨時財政対策債及び新規で発行される地域再生事業債の有効利用等に努めたい。
歳出面では行政改革の推進、策定している長期的財政計画の見直し、具体的には、旅費、消耗品費等の経常経費

町長 町税の徴収率向上と限られた財源の有効活用

の更なる節減、補助金等の見直し、囑託・委託料等の見直し等、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に努めた財政運営を行っていく。



行政改革を推進している門川町役場

問 災害の時期を前にして、防災の訓練や資材の充当はどうか。

町長 訓練は年四回程度実施している。水防倉庫は二ヶ所あり、今迄の

浜口 惇

防災計画は万全か

町長 沿岸部に整備を検討していきたい



災害の経験により最小限はあるが今後も整備に取り組む。東南海・南海沖地震防災対策推進地域の指定を受けたので、防災計画を見直し、防災施設の整備を検討していきたい。

福祉の充実を

問 国の大企業優先の構造改革推進で自治体は財源を減らされ、住民のくらしはきびしくなるばかりです。自治体

は住民のくらしや福祉を守ることが求められていると思います。このきびしさの中で福祉施策を一步でも前進させるのか。
町長 人にやさしいまちづくり運動や健康プラン21を進めること。又、町民の意見を取り入れた地域福祉計画を策定し、温もりのある福祉事業を進めていきたい。



訓練の様子

合併問題についての町長の所信は

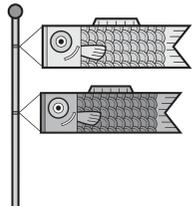
内山田 善信



町長 合併は急ぐべきではない

問 日向市、門川町、東郷町での合併問題についての地元説明会において、町長は「門川町は合併すると住民の負担が増える、門川町は単独でも十分やっていける。」と合併については否定的な発言をされていましたが、第四回定例会において、合併協議会設置案が町長より提案されました、町長は自ら協議会設置が必要だと思っていたのか、また、十六年度予算提案概要説明書に「自立の道を進むべく行政改革に取り組み」とあるが、具体的にはどのような改革を図るのか。
町長 門川町民は、半数以上が合併に反対してい

ると私は判断していません。そのような中で、町長が合併するとか、合併しないとか明言しても住民は従ってくれないと思ったので、議会に判断を任せました。合併そのものを反対するものではないが、性急に合併するべきではないと思っています。自立の道を進むための行財政改革については、高齢者の福祉の面での財政負担は相応なものになると思います。また、職員の削減、水道料の値上げ、保育料の段階的な引き上げを考えています。



住民発議についてどのように考えているか

町長 法に基づいて迅速に対応します。
小林 芳彦



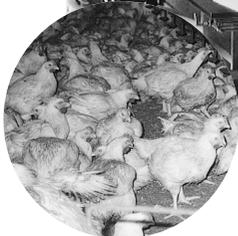
問 12月の定例会で、町長が提案した合併協議会の設置について、議会で否決されたこと今回の住民発議が行われたことでのどのように考えているか。
町長 否決につきましても、真剣に取り組み調査検討を重ねた上での議会の判断であり、重く受け止め尊重する。住民発議が行われたことについては、真摯に受け止め、合併特例法に基づき迅速に対応します。

食の安全について

問 門川町内において鳥インフルエンザがいつ発生するとも限らないが現在の対応は。
町長 国県の指導はもとより、万一発生すれば地域全体に影響を及ぼすと考えられる。これからは延岡家畜保健衛生所の指導を受けながら継続的に防疫対策を図っていきます。



防疫対策会議の様子



門川町環境基本条例が制定されました

この環境基本条例は、県下の町村では初めての制定です。同条例は野生生物の文化遺産保護を目的とし、環境基本法に準じて新たな環境政策の展開の基本となるものです。

環境基本条例の趣旨

門川町における環境政策は大気、河川海域の水質、騒音、振動、悪臭等の公害対策について規制区域や類型指定を行い、監視活動や廃棄物処理又は事業所の公害防止に取り組んで参りました。今後の環境政策については、廃棄物処理や事業

所における公害対策のみに止まらず、特に廃棄物のリサイクルと資源利活用またはエネルギーや二酸化炭素の削減など、次世代の子供達に負の遺産を残さないようにするため現代に生きる町民全ての責任において、この問題に取り組みなければなりません。そこで次世代における新たな環境政策の展開の基本となる条例を制定するものです。

環境基本条例の基本理念

- ①良好な環境の保全、創造と将来世代への継承
- ②環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会の構築
- ③人と自然との共生確保
- ④地球環境保全の積極的推進

以上4項目です。

議会のスケジュール

1月

- 4日(日) 消防出初式
- 9日(金) 議会広報編集特別委員会
- 10日(土) 門川漁業協同組合漁業管理施設竣工式
- 11日(日) 成人式典
- 13日(火) 議会運営委員会
- 15日(木) 議会広報編集特別委員会
- 19日(月) 門川町議会議員研修会
- 21日(水) 東北地域町村議長連絡協議会陳情
- 26日(月) 木城町議会来庁
- 27日(火) 議会運営委員会
- 28日(水) 時局講演会
- 29日(日) 南郷町議会来庁

2月

- 6日(金) 議会運営委員会
- 13日(金) 広域行政調査特別委員会
- 19日(木) 東臼杵郡町村議会議長会役員会
- 22日(日) 日向地区斎場東郷霊苑着工式
- 25日(水) 第1回入にやさしい町づくり運動推進大会・第13回生涯学習推進大会
- 29日(日) 第55回宮崎県町村議会議長会定期総会
- 29日(日) 議会運営委員会
- 医療・福祉複合施設

3月

- 1日(月) 門川農業高等学校卒業式
- 2日(火) 議会運営委員会
- 5日(金) 東臼杵郡町村議会議長会定期総会
- 9日(火) 本会議
- 10日(水) 本会議(一般質問)
- 12日(金) 本会議(広域行政調査特別委員会)
- 15日(月) 本会議
- 16日(火) 本会議
- 17日(水) 門川中学校卒業式
- 18日(木) 常任委員会
- 19日(金) 常任委員会
- 22日(月) 本会議
- 23日(火) 常任委員会
- 24日(水) 常任委員会
- 25日(木) 門川町立小学校卒業式
- 26日(金) 本会議(最終日)
- 28日(日) 門川漁業協同組合通商総会
- 28日(日) 鹿川漁業協同組合通商総会
- 28日(日) かがわ健康ロードレース
- 「神舞の里」竣工式
- 防火ボスター表彰式

条例改正

門川町の非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

- 改正内容
- 選挙長
 - 〈1回〉10,700円
 - 投票所の投票管理者
 - 〈日額〉12,700円
 - 期日前投票所の投票管理者
 - 〈日額〉11,200円
 - 開票管理者
 - 〈1回〉10,700円
 - 選挙立合人
 - 〈1回〉8,900円
 - 投票所の投票立合人
 - 〈日額〉10,800円
 - 期日前投票所の立合人
 - 〈日額〉9,600円
- 「門川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」及び「門川町教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」について
- ※町長・助役・収入役及び教育長の給料を1・2%程度(平成16年4月1日から引き下げる)
- 門川町手数料徴収条例の一部を改正する条例について
- ※船員手帳の交付又は書き換えに関する手数料1件につき1950円
- 門川町立児童館設置条例の一部を改正する条例について
- ※門川町大字川内2・671番地3に改める
- 門川町道路線の認定及び廃止について
- ※廃止路線1ヶ所新たに認定するもの計8路線

意見書

イラク特措法に基づく自衛隊派兵を中止し、即刻引き上げることをご日本政府に求める意見書(不採択)

地方交付税の削減に反対する意見書について(可決)

※地方交付税の財源保障と財政調整機能を一体のものとして保持するとともに、地方公共団体が、法令等により義務付けられた事務事業や標準的な行政サービスに必要な総額を適切に確保すること(意見書を提出)

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書(可決)

※森林整備に必要な財源を確保し、併せて国産材の利用を推進することにより、森林吸収源対策を着実に進めていくことが極めて重要であり、この対策の推進は、林業の活性化はもとより山林地域の振興にもつながるものである(意見書を提出)

諮問

人権擁護委員を推薦

新井 正男氏
門川町大字庵川3・272番地2

たくさんの方に傍聴にきていただきました。

平成15年の9月議会から議会の傍聴を促す広報が始まったこともあり、徐々に傍聴者の数は増えていきました。更に平成15年の12月議会、今年の3月議会では広域行政調査特別委員会(合併問題)の傍聴者が大変多く、改めて合併問題への関心の高さが伺えました。

平成15年			平成16年	
3月議会	6月議会	9月議会	12月議会 (特別委員会 2日を含む)	3月議会 (特別委員会 2日を含む)
16人	23人	30人	77人	75人

一般質問の日 平均20.75人
その他の日 平均8.13人

次回からも傍聴に来て下さい。

議会事務局職員の人事異動がありました。



議会事務局長
小野 康文



局長補佐
太田 民雄



新しい児童館で入園式



新しく完成した西門川児童館（左側）



西門川小学校新一年生



進む中山川の河川整備と水質浄化活動

編集後記

花の季節となり、町内のいたるところで心洗われる風景が見られるようになりました。

三月議会では、厳しい財政状況の中ではありますが、平成十六年度当初予算の審議を行いました。

また、議会だよりも98号を発行することとなりましたが、編集委員一同、全力で取り組み、少しでも住民の皆様の求める議会だよりを目指したいと考えております。今後皆様のご意見の程、よろしくお願い致します。

前号のぎかいフラッシュに掲載しました「中山神社 裸まつり」の撮影者は嶋岡伸好氏でした。訂正してお詫び致します。